

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2303130	博物館展示論 Display of Museum Collection	内田 雅之	専門	2	選択	4年 前期
科目の概要						
博物館での展示の意義や役割、またその歴史を学ぶと共に、実践で必要とされる展示の知識と技術を習得する。講義形式を中心とするが、講義期間中の1日を施設見学に充て、博物館・美術館活動の実際について学ぶ。						
学修内容			到達目標			
① 展示の歴史を理解する。 ② 展示方法を学ぶことができる。 ③ 文化財の取り扱いを会得することができる。			① 展示の意義、歴史的な背景について理解できる。 ② 展示の流れと展示デザイン等が理解できる。 ③ 文化財の取り扱い、展示技法を身につける。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	基本を学ぶことにより、モノの本質を把握することができる。				
	働きかけ力					
	実行力	基本を学び、それを応用することにより、モノに対して適確な取り扱いをすることができる。				
考え抜く力	課題発見力	如何に来館者の気を引き付けることができる展示ができるか認識することができる。				
	計画力					
	創造力	展示室の空間の中で、モノを如何に展示するかをイメージすることができる。				
チームで働く力	発信力	自分の研究の成果を、モノを通して発表・発信する力を持つことができる。				
	傾聴力	展示を企画するだけでなく、来館者の気持ちを察する気持ちを持つことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	史実を踏まえ、展示をすることの重要性を理解することができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:用いない。 参考文献:授業内で随時紹介する。						
他科目との関連、資格との関連						
資格との関連:博物館学芸員資格取得に必要な科目と関連している。						
学修上の助言			受講生とのルール			
本講義を学ぶ事により、博物館のみならず、家庭での生活においても日常的に知識として実践できます。積極的に知識・技術を習得して下さい。			質問された際、未回答や「わかりません」と答えるのではなく、何でもいいので答えられる度胸を持ちましょう。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	20	①	✓	前回の講義の理解度確認のための小テストを行うことがありますので、しっかりと復習し、解らないことがあればその時点で質問をして下さい。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
レポート	40	①	✓	美術館・博物館を訪れ、展示手法や照明器具、また、展示構成等を子細に観察したかを評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	特定のテーマを与え、展覧会を疑似企画して発表を行いその内容を評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10			(主体性) ・積極的な発言・行動ができるかどうかを評価する。 (実行力) ・少しでも多くの美術・博物館を訪れ、該当館の概念と手法を学ぶ。 (課題発見力) ・鑑賞館の展示を観て、「自分ならばこのような展覧会をしてみたい」と、発案できること。 (創造力) ・鑑賞館の展示手法を理解し、自分であればどのような展示をするかを考えることができる。 (発信力) ・自分で何らかしらのヴァーチャルな展覧会を発議できる。 (傾聴力) ・「あいづち」や「うなづき」など話を聞く姿勢ができています。 (規律性) ・無断欠席や遅刻をすることなく、学生生活を満喫する。
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
展示理念・意義・計画技法を理解・会得し、実践する事が出来る事。	展示理念・意義・計画技法を理解・会得出来る事。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	博物館展示の意義 (「陳列」と「展示」)	講義	来館者と博物館を結ぶ交流を促す展示の意義を理解する。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	主体性 傾聴力
2週 /	展示の歴史(1) (近世の展示)	講義	茶会や寺社の宝物出開帳を通じて文化財の関わりを考える。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	課題発見力 傾聴力
3週 /	展示の歴史(2) (近代以降の展示)	講義	明治以降の博物館の展示の移り変わりを理解する。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	主体性 傾聴力
4週 /	展示の企画・運営 (「展示型」と「説示型」)	講義	展覧会開催までの流れを学ぶ。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	主体性 課題発見力
5週 /	展示技術 (解説パネル・映像・音声)	講義	展示に用いる補助具の種類や用途を理解する。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	主体性 傾聴力
6週 /	展示環境の管理 (照度と温湿度管理)	講義	展示環境についての基礎的知識を得る。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	主体性 傾聴力
7週 /	参加型展示とユニバーサル・ミュージアム	講義	普遍的に受け入れられる博物館建築の意義を理解する。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	主体性 傾聴力
8週 /	博物館の展示の実際	講義	博物館・美術館の展示の実際について理解する。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	主体性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	文化財の展示(1) ～書跡・絵画～	実技	掛軸を取り扱って学ぶ。	文化財の取り扱い方、名所をきちんと復讐しておく事。	適宜	実行力 行動力 創造力
10週 /	文化財の展示(2) ～金工・漆工品～	実技	金工品を取り扱って展示方法を学ぶ。	文化財の取り扱い方、名所をきちんと復讐しておく事。	適宜	実行力 行動力 創造力
11週 /	博物館の見学	見学	博物館の見学を通じて、各館の展示技法を学ぶ。	見学先の概要をまとめておく事。	適宜	課題発見力 主体性
12週 /	展示の評価 (展示の実例を学ぶ)	講義	欧米とわが国との展示手法の違いについて考察する。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	主体性 実行力
13週 /	演習：展示計画(1)	演習	自身で企画した展覧会を発表し、その計画性を討論する。	自身の企画をきちんと伝えられるよう、把握しておく事。	適宜	実行力 創造力 発信力
14週 /	演習：展示計画(2)	演習	解説パネルやキャプション等を作成・発表し意見交換を行う。	自身の企画をきちんと伝えられるよう、把握しておく事。	適宜	実行力 創造力 発信力
15週 /	これからの博物館展示	講義	今後の博物館における展示についての展望について考察する。	講義中に出た単語について理解を深める事。	適宜	主体性 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力